

小学部



幼稚部



無花果

学習発表会

「ツナゲ ミンナノココロ ～110周年へSTEP UP～」

高等部



中学部



No.187
令和3年12月24日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

「根っこ」の力

教頭 近藤 千晴



今年もコロナ禍の一年でしたが、その中で開かれた東京オリンピック・パラリンピックはご覧になりましたか。選ばれし者の晴れ舞台。日本チームのメダルラッシュの陰で、有望視されていた選手がメダルに手が届かず悔し涙：という、悲喜こもごものドラマを目の当たりにしました。努力が必ずしも一回限りの本番に反映されるとは限らない、勝負の世界の厳しさを感じました。

学校の晴れ舞台といえ、やはり学習発表会です。どの学部も、これまで学んだことを反映させた内容であったり、子どもたち自身がストーリーの一部を考えたりと、日ごろの学習と深く関わっている発表でした。私は練習を時々見ましたが、全員が毎回真剣に取り組み、「よりよいものを作り上げたい」という気概が感じられ、その姿が眩しく、ぐっと心に迫るものがありました。当日は個々の力や練習の成果が十分に発揮されていたと思います。終わった後の子どもたちのやりきった感、満足げな表情や誇らしげな姿にも表れていました。

話は変わりますが、詩人の相田みつをさんの作品の中に「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ」という私の大好きな詩があります。我々とはかく、現在表面に見えるものだけで評価してしまいがちです。最後に集大成として「花」を咲かせた発表会ですが、そこに至るまでの「セリフを覚えるための必死の反復練習」「何度も練習した努力や試行錯誤」「思いどおりにいかないもどかしさ」「成功した、認められたうれしさ」「一緒に作り上げたという仲間との一体感」等、この過程の中の一つ一つの体験こそが枝葉であり価値あるものであると思います。

冬の木々は一見眠っているように見えても、春にまた枝葉をつけ花を咲かせるために力を蓄える時期でもあります。子どもたちの見えない「根っこ」に思いをはせ、未来の姿を思い描きながら、価値ある経験や豊かな言葉のシャワー、温かな眼差し、の栄養でじっくり育んでいきたいものです。さてさて、来年はどんな花が咲くのでしょうか。楽しみですね。

幼稚部

みんな大活躍「うらしまたろう」

菅原 研



の事前録音を頑張った子どもたちもいます。幼稚部みんなのでくり上げたステージ。発表後、たくさん拍手に包まれた子どもたちの姿は、また一つたくましく見えました。

今年度の幼稚部のステージ発表は「うらしまたろう」でした。全員そろって練習できた日は少なかったのですが、本番ではみんな堂々とせりふを話したり、元気に伸び伸びとダンスを踊ったりすることができました。また、本番に向けて、背景の魚の色塗りや、ナレーション

小学部

「ノラネコぐんだん なつまつり」

加藤 深湖



「ノラネコぐんだん」の絵本が大好きな小学部の六人が、「ノラネコたちに扮して楽しい「なつまつり」を開きました。ノラネコたちは、かき氷を作ったりゲーム屋さんを開いたり…。ワンワンちゃんに怒られるハプニングもありましたが、最後は、明日も幸せな日が来るよう願いを込めながら、大好きな歌「Tomorrow」を元気に歌いました。

発表を終えた子どもたちの感想です。「おみせやさんとうたをがんばりました。」「せりふをはっきりはなしました。」「おみこしで『わっしょい』と叫びました。」「みんなで力を合わせてがんばろう」の場面がもっともっと増えるように、これからも六人みんなで頑張ります。

中学部

「つぼみから花へ」

中野 あかね



今年度の中学部は一年生二名のステージ発表でした。これまで先輩たちが演じてきたカラーガードと和太鼓演奏に挑戦しました。発表で特に心掛けたことは、ステージに立つ全員が息を合わせて演技をすることでした。周りの友だちや先生の動きを見たり、タイミングを合わせたりすることで、一体感のあるステージになりました。生徒の振り返りでは、「息を合わせて発表できた」「太鼓を強く叩いたり、旗を大きく振ったりできた」という達成感溢れる感想が聞かれました。



高等部

「藍鬼」

赤平 成美



高等部は、生徒の意見を取り入れたオリジナル劇を行いました。九月から、自分の演じる人物像や状況などの理解を深めつつ、「自信のある様子をどう表現すればいいのか。」「この場面に合う動作は何か。」等、悩んだり友達や教師と話し合ったりしながら作り上げてきました。当日のビデオを視聴した生徒は、「場面に合った身振りが良かった。」「本物のドラマを見ていたようだ。」等、自分や友達の練習成果を実感している様子でした。

生徒会活動

ワニたたき大成功

中学部一年 佐々木 琉加

ほくは、お客さんにワニたたきのやり方を説明しました。お客さんがたくさん来て忙しかったです。お客さんが喜んでくれてうれしかったです。

中学部一年 中島 琴音



今年初めての生徒会活動なので緊張しました。でも、お客様に楽しんでもらえるようにかけ声や態度を工夫しながら行動しました。壊れるほど、ワニを一生懸命叩いてくれて、楽しんでいてくれるなどうれしくなりました。

高等部

高等部109 (thank you)デー

高等部三年 松本 拓己



コロナ禍で例年通りの生徒会展が行えない中、みんなに私たちの製品を見ていただくために、109デーを考えました。売り切れた製品も多く、お客さんや子どもたちの笑顔が見られて、企画が良かったです。来年度こそは、喫茶店などお客さんが楽しめるような企画をしたいです。

各学部の行事コーナー

幼稚園部

秋の遠足〜りんご狩り〜

鈴木 るみ子

秋晴れに恵まれた十月十九日、果樹園に出かけました。りんご狩りは初めての子どもが多く、お母さんと一緒に作ったしおりを繰り返し見て、とても楽しみにしていました。

「どれがおいしそうかな?」「赤いりんごにしよう!」「高いところのりんごがいい!」など、親子でやり取りしながらもいだりんごを、みんな嬉しそうに手にしていました。

園内の散策では収穫後に残った小さな梨に目を輝かせたり、ブドウの大きな葉っぱを集めたり、不思議なキノコを発見したりと、親子でいろいろな秋を満喫した一日でした。



小学部

校外学習にレッツゴー!

〜県立博物館〜

高橋 瞳

十月二十七日、秋の校外学習で県立博物館へ行ってきました。

人文展示室では昔の人々の暮らしに触れ、縄文時代や江戸時代の家や当時は草花や海の生き物などの標本を実際に手に取って観察したりと、それぞれが興味をもったものをじっくり楽しんできました。床下のデワクジラの骨格標本は特に人気があり、上を何度も何度も歩いてその大きさを感じました。新たな発見がいっぱいの校外学習になりました。



中学部

下北手中学校との交流

〜合同体育祭に参加して〜

吉尾 香

九年目となる中学部と下北手中学校との交流。今年は太平中学校も加わり、三校合同で体育祭が行われました。親交を深められるように、事前に一年生同士で自己紹介カードを交換したり、本校の特色を伝えたりしました。その甲斐あって、体育祭当日は初対面とは思えないほど筆談や絵しりとりで盛り上がりました。ソフトバレーボール、ドリブルリレー、大縄跳び等、本校生徒にとつて経験の少ない競技もありましたが、学校全体の温かい雰囲気の後押しされ、チーム一丸となって競いました。生徒同士で協力したり、応援し合ったりする姿が随所に見られ、また会う日が楽しみな充実した交流となりました。



高等部

高等部防災教室

鷲谷 和

十一月一日の高等部防災教室では、秋田県総務部総合防災課から講師を招き、本校が所在する秋田市南ヶ丘周辺の地図をもとにDIG(災害図上訓練)に挑戦しました。起こり得る災害とその影響や被害を想定し、危険箇所をマークしたり、避難所として利用できそうな場所を書き込んだりしました。また、日頃から備えられること、確認すべきことなどを話し合いました。各グループの地図を見ながら話し合ったことを発表し合い、理解を深めることができました。生徒からは、「実際に地図で確認すると意外に危険な箇所が多く驚いた。」「様々な災害が起こることが想定し、日頃から意識していくことが重要だ。」などの感想が上げられました。



寄宿舎

第二回 合同余暇活動

佐藤 玲子

今回の合同余暇活動は、両校の生徒がアイデアを出し合い、視覚支援学校企画の「ビンゴ」と聴覚支援学校企画の「箱の中身は何?ゲーム」で計八名の生徒が楽しみました。

ゲームの内容等を生徒達が話し合っ
て決め、当日も協力して進められま
した。ビンゴで
は「リーチ!」
「ビンゴ!」
「すごい!」
と歓声が上が
り、クイズで
は何が入って
いるか分から
ない箱の中
手を入れるド
キドキ感で盛
り上がりまし
た。「楽しかつ
たね」「また
やりたい」と
いう感想が聞
かれ、和やか
な雰囲気です
楽しい交流の時
間となりました。



支援部

難聴児童交流会・

聴覚障害教育担当者研修会

渋谷 宏美

今年度も中央(七月、本校児童を
含む十二名参加)、県北(十一月、三名)、
県南(十二月、六名)の三地区で交流
会を開催しました。子どもたちは、自
己紹介や「〇×クイズ」などのレクリ
エーションを通して他校の友達と徐々
に打ち解け、最後は笑顔のやり取りが
ひろがりました。保護者部会につい
ても、顔を合わせて情報交換をするよ
い機会になったという感想をたくさん
いただきました。

また、初めての試みとして夏休みに
担任の先生方を対象とした研修会をオ
ンラインで開催しました。今後も子ど
も同士、保護者同
士、担任同士がつ
ながる支援に取り
組んでいきます。



高等部修学旅行

秋田の魅力を見よう!

豊嶋 桐夏

今年度は高等部二・三年生合同の修
学旅行でした。行き先が県内と決ま
り、結団式では生徒から「秋田の魅
力を再発見したい」という声が多
く上がりました。

鹿角市の大湯環状列石では十和田
高校のボランティア部のみなさんに
ガイドを依頼し、仙北市の周辺散策
においては事前にオンラインで大曲
支援学校せんぼく校のみなさんから
武家屋敷の見所やおすすめの場所な
どを紹介してもらいました。行く先々
で生徒から「初めて見た」「知らな
かった」などの声がかげられました。

体験と見
学を通して
ふるさと秋
田の魅力
を再発見
した旅
旅でした。

▼十和田高校の生徒と交流



ニュース・トピックス

◎第五十四回 秋田県高等学校総合美術展
【絵画部門】

- 推奨 高等部二年 畠山 陽稀
- 入選 高等部二年 秦 結来
- 高等部二年 長門 里紗
- 高等部三年 松本 拓己

◎第十三回 秋田工芸展

- 入選 「田園(木工作品)」
- 高等部専攻科一年 荒川 太陽
- 高等部一年 伊藤 蘭丸
- 入選 「草木染めタペストリー」
- 高等部三年 門脇 紗南

◎令和三年度 みんなの写真展

- 優秀賞 小学部三年 中川 瑞希
- 佳作 高等部二年 佐々木 岳志
- 入選 中学部一年 中島 琴音



優秀賞 中川 瑞希
「おーい!!」

◎第十三回 新聞きりぬぎコンクール
【特別支援教育の部】

- 佳作 高等部専攻科一年 荒川 太陽

編集後記

日々の学習や行事を通して、子どもたちが活躍する姿がたくさん見られた二期でした。
寒さの厳しい季節となりますが、健康によいお年をお迎えください。